

市長記者会見記録

日時：2025年9月2日（火）14時00分～14時22分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

《法人県民税及び法人事業税の超過課税の延長に係る県への緊急要請について》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入りますが、まずは幹事社様からよろしくお願いします。

【朝日（幹事社）】 どうも、朝日新聞でございます。

私からまず2点ということで、先日、8月28日に県庁で、3指定都市合同で神奈川県に対して、法人県民税及び法人事業税の超過課税の延長について、緊急要請をされたということなので、当日のやり取りを踏まえて市のお考えと、あと県側の反応について改めて教えていただきたいなというところと、あともう一点、川崎臨海部の水素の供給基地についてでございますが、もともとの計画では、オーストラリアから船で水素を運んできて国内で使うという計画だったんですけれども、オーストラリア側の水素を出す基地の建設が遅れるということで、当面、国内で製造された水素を使うというふうに計画が変更されたんですけれども、これについて、川崎市として何か影響があれば教えていただきたいなという、この2点について、まずお願いできますでしょうか。

【市長】 まず、超過課税については、県のほうで超過課税を延長するという議案を9月の県議会で提出すると聞いておりまして、45年以上続いている超過課税でありますけれども、私たち3政令指定都市、3市の企業の皆さんが全体の7割を納めていただいているという状況にあります。一方で、本市においては、正確な数字でいきますと——ごめんなさい、今誰かいらっしゃいますか、担当のところで——はい。正確なパーセンテージ、後ほど申し上げますが、私ども川崎市を含む3市には、還元されている率は非常に低いということもございまして、そういう意味では、広域行政としてしっかりと県内全域のインフラ整備を整えていくという、その趣旨は私たちも十分理解できますが、それぞれに使った事業の効果をしっかりと客観的に判断して、そして納税していただいたところに説明を果たすということは当然のことだと思っております。

して、その辺りをしっかりとするようにということで、緊急要請という形でさせていただきました。県の副知事のお話では、超過課税の重要性については改めて述べられた上で、ただ、私どもが主張するように、客観的な評価というものは大切だと思うし、丁寧に説明していきたいという答えがございました。超過課税のパーセンテージについては、事務方からお答えさせていただいてよろしいでしょうか。

【司会】 大丈夫でしょうか。では、財政局資金課のほうで。

【財政局】 財政局資金課長でございます。私からお答え申し上げます。令和5年度になりますけれども、川崎市域におきまして、県のほうに納めている税収が、およそ47億円ほど、それに対しまして、市のほうに補助金として来たものが3.8億円ほどということで、それを比率といたしますと、およそ8.2%となっております。直近5年程度でも、およそ10%前後ぐらいで推移しているところでございます。

以上でございます。

《川崎臨海部における液化水素サプライチェーンの商用化実証の取組について》

【市長】 よろしいでしょうか。それと、水素のことについてでありますけれども、おっしゃっていただいたとおり、当初はオーストラリアから液化水素という形で大量に持ってくるという計画でありましたけれども、オーストラリアのほうでの、一時期、州政府の政治的な影響というのがあって、それが少し遅れているということでもありますので、まずは国内水素から活用していくということでもあります。いずれにしても、今後、海外からの水素については現在進行形で検討しているという状況でありますので、若干の、輸入水素という形では遅れが出ていますが、全体のスケジュールとしては、大きく何か変更になっているものではないと考えております。

《特別市について》

【司会】 では、時事通信さん、お願いします。

【時事（幹事社）】 時事通信と申します。よろしくお願いします。

聞きたいことは山ほどあるんですけれども、特別市をお聞きしたいんですが、昨日も議会の議案説明の初日、挨拶の中で、冒頭で最初、一番に特別市の状況の説明に入られまして、一番の思いかなと思うんですけれども、今、政局等も大分不透明で、ただ、こちら側、指定都市側としてもタイムリミットがあると思うんですけれども、今後、具体的にどんな動きをされていくんでしょうか。それとまた、改めて特別市の制度、意義ですか、それを御説明いただければと思います。

【市長】 まず、今後の予定ですけれども、近々ではあると思いますが、政令指定都市を応援する国会議員の会の役員の皆様、総理、そして総務大臣に要請書、決議をし

ていただいた、その決議の内容について、総理や総務大臣にしっかりと伝える場を設けていただくという予定をしておりますので、それについて私たちもどうこうするような形になるのかと思いますが、まだ正式な日程は決まっておりませんので、近日中ということになるかと思いますが、次期地方制度調査会が、はっきり言っていつ開催されるのかということは、まだ読めません。正直、過去の例からいきますと、こういった研究会ができてというものが、裁きが終わった後、秋ぐらいというふうには想定しているんですが、こういった政局の状況でもありますので、それがいつ開かれるのかというのは、まだ分からないところはあります。それがいつ開かれてもいいように、開かれることになっても、そのときに、しっかりと諮問のテーマとして特別市というものがされるように、引き続き強力な働きかけをあらゆる手段を通じて行っていきたいと思っています。特に、国会議員の皆様、政党の皆さんにしっかりと働きかけたいなと思っております。その上で、先日も3政令市の市長、正副議長との9人の会で、新たな要請という形で、3市まとまってという形もありますので、これもしっかりと要望につなげていきたいと思ひますし、議会と一緒に取り組んでいくことがとても大事だと思ひますので、行政、議会挙げて取組を加速させていきたいと思ひます。特別市の意義については、言うまでもありませんが、人口減少がかなり深刻な状況になっている中で、私たち行政サービスをどうやって維持していくのかといったときに、私たちの持っている、政令市が現在果たしている役割をさらに効率的、効果的な制度にして、そして厳しい状況にある市町村を、しっかりと現在の都道府県が行っている垂直補完というものをより強めていく。そして、特別市と、それからその周辺にある圏域全体の市町村の水平連携というものも強めていくことによって、持続可能な行政サービス、市民の皆さんに対するサービスを持続可能な形にしていかなければならないという強い危機感を持っているところでございます。

【時事（幹事社）】 ありがとうございます。それと、もう一点なんですけれども、この夏、特別市のPRというか、TV e rですか、動画とかで、いろんところでされていましたがけれども、取りあえず夏でこれ終わりになりますか。国民的議論にというのもあるかと思うんですけれども、そういったものの仕掛けというのは、川崎市さんのほうでは、まだ。

【市長】 今現在、トレインチャンネルとか、様々なところでやらせていただいておりますけれども、いつまでやるのかというのは、そんなに長期間ではなかったと思いますが、それ以降のことについては、とにかく、今、大切な時期を迎えておりますので、市民の皆さん、あるいは企業の皆さん、経済界の方たちの理解というのはとても

大事だと思っていますので、しっかり広報啓発していきたいと思っております。

【時事（幹事社）】 ありがとうございます。

《等々力緑地再編整備事業について》

【司会】 ありがとうございます。では、幹事社様以外で御質問をお願いいたします。
東京新聞さん、お願いします。

【東京】 東京新聞です。

先週末、等々力緑地のオープンハウス型説明会が開かれて、多くの市民の方がいらっしやっていると感じました。市民の方々から具体的にどのような質問とか意見が寄せられたか、御存じでしたら教えてください。

【市長】 まず、おかげさまで、トータルで、来場された方は291名で、300名近い多くの皆さんに来ていただいたということであって、大変ありがたく思っております。おおむね、皆さん、この見直し案について、好意的な御意見をたくさんいただいたと聞いております。そして、説明会には、比較的若い世代、子育て世代の皆さんの御来場が多かったと聞いておりまして、大変、見直しについて、よくなったとか、頑張ってもらいたいと、また自分たちも参加させてほしいというような非常に前向きな御意見をいただいております。例えば、工事期間が、施設利用が停止になっている期間が長いので、工期短縮はできないのかとか、あるいは代替施設はどうなるのかという御質問、御意見などもいただいたと認識しております。いずれにしても、皆さん非常に好意的に、かつ夢のある話だということで、好意的に捉えていただいたのではないかなと思っております。

【東京】 今、好意的な意見が多かったと教えていただきましたけれども、実際、その見直し案、結構思い切ったなという印象も個人的には受けたんですけども、市長御自身はどのように受け止めていらっしゃいますでしょうか。

【市長】 やはり質の高い緑の空間の中で、多くの人たちがくつろげるとか、あるいは、にぎわいだとかを楽しめる提案になっているのではないかなと思います。皆さんからも非常に好評だったと聞いていますけれども、「みんなのはらっぱ」、広大な広場でありますとか、あるいは「こもれびの森」みたいな形で、そういったところがとてもいいプランになっていると思いましたし、ぜひ、これまでも言ってきたところですけども、市民の皆さんにとっての誇りとなるような、首都圏でも本当に随一の公園にしていきたいなと思っております。

【東京】 ありがとうございました。

【司会】 神奈川新聞さん、お願いします。

【神奈川】 神奈川新聞です。

等々力の話なんですけれども、私自身もよくここまで緑に振り切ったなという強い印象を受けましたけれども、あえて、多分、市民の意見もすごい、聞き入れることによってああいうプランができたと思うんですけれども、今回の説明会で、好意的な意見以外のものももちろんあったと思うんですけれども、あえて批判というか、否定的なことで取り入れられそうなことみたいなものというのは何か。否定的な意見も一緒に教えていただきたいんですけれども。

【市長】 否定的な意見……。

【神奈川】 ちょっと厳しめな意見も多分あったと思うんです。全員が好意的な意見だったとは思わないんですけれども、あえて、否定的な意見はどんな意見があったかを。

【市長】 そうですね、どうでしょうか。スーパー銭湯はやめてほしいとか、駐車場の位置を変えてほしいという意見があったと聞いていますけれども、非常に少数な声だということも聞いております。従来から反対されている方というのは、特定の方がいらっしゃると聞いていますので、それは受け止めさせていただいております。

【神奈川】 すみません、ありがとうございます。

《市立小学校のプールにおける水の流出事故について》

【司会】 t v k さん、お願いします。

【t v k】 t v k です。よろしくお願いします。

少し時間がたってしまったんですが、先週、市立小学校でまたプールの水の出しっ放しの問題がありました。3年間で3件と、結構多いなという印象を受けていますが、市長はどのように受け止めていらっしゃるか。また、再発防止策については、どのように徹底されていきますか。

【市長】 今回の場合も、マニュアルはできていたけど遵守されていなかったという初歩的な話だったので、非常に残念だなとは思いますが。確かに学校の業務、非常に忙しいときだったということも聞いておりますので、とにかくこういったことがないように再三言ってきておりますので、教育委員会でしっかり徹底するようにしていきたいなと思っております。

《教員の児童盗撮事件について》

【t v k】 あともう一点なんです、昨夜、葉山町立の中々学校の教員が盗撮の問題で愛知県警に逮捕されました。その事案をめぐっては、横浜市立小の教員も逮捕されていて、県内2件起きています。改めて、教員の質というところがすごく注目され

ていると思いますが、川崎市の教員に対して指導を徹底したりとか、何か事件が起きないように指導を改めるなどがあれば教えてください。

【市長】 何ていいますか、教員である前に、本当に犯罪ですので、それを一般の教員に、こういうことがあったから気をつけましょうとかということは分かるんですが、何というんですかね、犯罪者と、普通に、ちゃんとにやっている先生たちと一緒にして注意するというのも、本当に、何か違うような気もいたしますが。ただ、学校って、本来最も子供たちにとって、安心して安全な場所でなければならないはずのところが、こういった事件が起きますと、何となく皆さん疑心暗鬼になってしまうということは本当に不幸なことで、そんなことがあってはならないし、市内において、ないとは思いますが、ただ、例えばプライバシーを侵害するような、例えば動画だとか写真だとかということが、万が一にもそういうことがないような、点検とかということは、日常の学校運営の中でしっかりと徹底していくべきものだと思いますし、そういうチェックは日頃から学校のほうでやっていただいていると聞いていますので、国のほうで指導というか、徹底的に何かこういうことをやるんだという指示も来ているようですが、しかし、特別なことをやる以前に、日頃からのそういう、不祥事を生まない環境づくりというのに、現時点でも学校現場はやっていただいていると思いますので、そこをやはり、こういう事件があった直後ですから、しっかりと徹底してもらおうということが大事なかなと思っています。

【t v k】 分かりました。ありがとうございます。

《等々力緑地再編整備事業について》

【司会】 朝日新聞さん、お願いします。

【朝日（幹事社）】 等々力緑地の再編事業の関連なんですけれども、現地説明会のとくに、新陸上競技場の手直しについては、議会との調整前だということで情報が出せないということだったんですけれども、それを除けば、発表された見直し案で、もう走り出すという理解でよろしいのでしょうか。

【市長】 そういうことになります。

【朝日（幹事社）】 今後、手直しが出てくるところはございますか。

【市長】 手直しというよりも、これまでも申し上げてきたとおり、なるべく工期短縮と経費削減という形でやっていきますので、進めていく中で、詳細に詰めていく中で、削減できるものは削減に努めたいと思いますが、大きな変更というのはないかと思っています。

【朝日（幹事社）】 現状、1,232億円に膨れ上がり、先日40億円の削減の話が

出て、今回の見直し案の発表があり、あと金利の問題もあって、現状のトータルの事業費とかお金の話が現地説明会でも聞けなかったので、できるだけ早めにお金のところを計算して示していただけるとうれしいなと思っていますので、早めに、できれば9月中に数字をいただけるとうれしいなと思っていますので、よろしくお願いいたします。

【市長】 まとまり次第、速やかに情報提供させていただきたいと思います。

【司会】 ほかに御質問はよろしいでしょうか。

よろしければ、では、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当